

# 同窓会だより

## 歯学部同窓会の活動について

新潟大学歯学部同窓会 会長 多和田 孝 雄



会長に就任して3期目も後半の年度に入りました。役員に支えられて、会員重視の同窓会運営をこれまで心がけて参りました。以来、既存事業の充実と新規事業の開拓を続ける中、部署の

統合や新設を始めこれに付帯する規則や規約の策定、更に会則の大幅改正にまで踏み込み歯学部同窓会は強力な組織になって参りました。情熱のある有能な役員のお陰であり、常々感謝しているところであります。

本年新潟大学は創立60周年を迎え、10月18日(土)には ANA クラウンプラザホテル新潟(旧ホテル新潟)において記念式典、講演会、祝賀会が開催されます。同イベントは午後の開催ですが、同日の午前には各学部主催によるホームカミングデーが企画されます。歯学部においては学部と同窓会の共催の形式をとることにしており、歯学祭も同日開催で我々と歩調を揃えることになっております。

本年6月13日(土)、初めての同窓会クラス代議員会議が歯学部大会議室で開催されました。代理出席を含めてほぼ全クラスの代表者が一堂に会し、60周年記念事業への協力や会員を重視した同窓会運営への貴重なご意見をいただきました。今後の同窓会事業に反映したいと考えております。

歯学部同窓会は昨年度から新潟大学、今年度から明倫短期大学の受験生増への支援を開始しました。取り組みとしては、全国の会員診療所の待合室に両校の学生募集パンフレットを掲示するというものです。送料等の経費について新潟大学分は

無償としております。この仕組み作りは福島正義副会長に尽力いただきました。

本年度の同窓会総会におきまして女性会員の為のワークライフバランスやワークシェアリングを念頭においた女性会員支援部及び女性会員支援理事の新設が承認されました。この10年歯学科の卒業生の半数は女性です。口腔生命福祉学科においてはさらに女性の比率は増します。女性会員が就業するに当り、出産、育児等女性特有の問題が存在することは女性でなくとも容易に推測できます。同窓会としては今後も増加するであろう女性会員の就業、更には女性会員同士のコミュニケーションの場として役立つよう組織や連絡網を駆使した仕組みを作りたいと考えております。女性会員支援理事には田中みか子先生、岡田朋子先生、丸山薫先生、石澤尚子さん、市川加奈さん、石山友香里さん、安斎さや香さんが就任しました。

## 2008年度第2回歯学部教授会 同窓会定期協議会

渉外担当理事 飯田 明彦

- I. 日 時 2009年2月5日(木)19時~21時20分
- II. 場 所 歯学部特別会議室①
- III. 出席者 教授会：前田学部長、齊藤副病院長  
同窓会：多和田会長、佐藤副会長、福島副会長、鈴木副会長、成田専務理事、飯田渉外担当理事

### IV. 報告・議題

多和田会長の挨拶に引き続き、下記の内容について話し合われた。

#### 1. 学部から

歯学部の近況について、前田学部長から詳細な資料に基づいた説明があった。



1) 人事について

〈学部長〉

前田健康教授再任 (H21.4.1~H23.3.31)

〈教授関係〉

配置換え 山田好秋教授

(副学長専任 H20.9.1付)

選考中 口腔生理学分野担当教授および歯科総合診療部担当教授 H21.4.1付発令予定

任期満了 里方一郎教授 (H21.3.31付)

〈准教授関係〉

依田浩子 硬組織形態学分野

泉 健次 口腔解剖学分野

〈特任准教授〉

井上佳世子：大学院 GP

〈特任助教〉

本田朋之(日歯新潟出身、新潟大院修了)、原田

史子(鹿児島大出身、新潟大院修了)：大学院

GP

鈴木晶子、奥井隆文：歯学連携

〈その他〉

・H20年度定員削減・流動化定員拠出3名

・病院講師定員下位流用振り替え

2) 予算について

i) 平成21年度概算要求事項の内示について

・ファントムシミュレーション実習システム (新規)

・大学間連携研究経費(新規：H20年度特殊要因経費から、向こう4年間)

・口腔生命福祉学科3年次編入学定員 Δ4 = 修士課程設置に伴う

ii) H20年度科学研究費補助金

歯学系(病院歯科系含む)で約1億7千万円(直接経費のみ)

iii) 設備・装置等

・学生アメニティスペースの整備(3・4階)

・4階保存実習デモ室視聴覚設備一式(学長裁量経費)

・4階・5階実習室個別空調設備一式

・C棟トイレ改修一式(3階~7階)

・遺伝子解析システム一式(大学間連携研究経



費)

・全自動免疫染色システム一式(学長裁量経費)

・HD 配信システム(大学院 GP)

・バーチャルスライドシステム(大学院 GP)

・マイクロCT装置

3) GPについて

・大学院教育改革支援プログラム(大学院 GP)「プロジェクト所属による大学院教育の実質化」(H20~22年度)

・大学教育支援プログラム(特色 GP)(H20年度終了)

4) 大型改修について

早ければ H22年度から開始される。それに向け WG が設置された。各分野が25%の居住面積を拠出し共通スペースとなる。同窓会室については改修中の移動が必要。その後のありかたについては今後の検討課題。

5) その他

・歯学教育の改善・充実に関する調査協力者会議第1次報告書

入学定員の適正化

臨床実習の充実化

2. 病院から

最近の病院の動きについて齊藤副病院長から説明があった。

1) 研修医について

65名の募集に対し61名がマッチした。本学出身者が39名と例年より多数を占める。

2) 外来棟の移転について

現在診療ユニットは190台が稼働している





が、移転の際には140台程度に減少する予定。  
コンピューター管理等を行い有効利用する予定。

### 3. 同窓会から

1) 新潟大学創立60周年記念事業への歯学部と同窓会の連携について話し合われた。

上記以外、時事問題などについても活発な意見交換がなされ、今後とも同窓会と大学側が協力体制をとっていくことが確認された。

## 平成21年度新潟大学歯学部 同窓会・総会の報告

副会長 福 島 正 義

平成21年度歯学部同窓会総会は平成21年4月18日(土)に歯学部で開催された。総会に先立ち恒例の学術講演会が講堂で行われた。今年度は新潟大学創立60周年事業の一環として口腔生命福祉学科担当および新潟大学超越研究機構「歯周一全身プロジェクト」の山崎和久教授をお迎えして「歯周疾患と冠動脈心疾患の関連—因果か相関か—」と題した講演が行われた。例年以上に多くの参加者があり、歯周病と全身疾患との因果関係に対する関心の高さがうかがわれた。

講演会に続いて総会が大会議室へ会場を移して開催された。開会の冒頭に昨年度の6名の物故会員に対する黙禱が行われた。引き続き多和田会長の挨拶があり以下のような内容の方針が述べられた。1) 新潟大学創立60周年記念事業の1つであるホームカミングへの協力、2) 女性会員支援部の立ち上げ、3) 歯学部大型改修に伴う同窓会室の一時的な外部移転、4) 財務基盤の強化である。議題では各部会の平成20年度活動報告が成田専務理事より一括報告され、平成20年度一般会計および特別会計の決算が満場一致で承認された。引き続き、平成21年度活動計画案と予算案が審議され、満場一致で承認された。さらに協議題として新潟大学創立60周年記念事業のホームカミングデーの開催について担当の野村副会長より説明があり、

歯学部と協議しながら準備を進めることになった。佐藤副会長が中心となって数年をかけて慎重審議されてきた同窓会会則改正案、天災等被災に関する見舞規約と同窓会費を財源とする見舞事業内規改正案および学生に関する表彰制度規程と同内規案が承認された。また、多和田会長から女性会員の就業支援を行うために女性会員支援部の創設と3名の担当女性理事の選任の提案があり、満場一致で承認された。さらにまた、長期勤続教員への退職祝金贈呈について提案があり、賛同が得られた。その他に歯科医師国家試験対策の支援を歯学部後援会と共同して行っていくことが確認された。役員人事では鈴木政弘総務理事が副会長に就任し、広報および会計理事の一部交代が行われた。

総会后、割烹「まつや」で学術講演会講師の山崎教授を囲んで懇親会が行われた。周知の通り、山崎教授は1980年以来、本学に在職されているため、懇親会参加者のほとんどと顔見知りであることから時間を忘れて昔話に話が弾んだ。

## 平成21年度歯学部同窓会 総会学術講演会

「歯周疾患と冠動脈心疾患の関連—因果か相関か—」を拝聴して

14期生 有 松 美 紀 子

4月18日に同窓会総会と新潟大学超越研究機構歯周一全身プロジェクトのリーダーの山崎和久教授の学術講演会が開催されました。

歯周疾患は、毎日の診療において悩み多き疾患です。現在では全身疾患をお持ちの高齢者の患者様が多く、医学の知識や医科との連携が必要であり、スクリーニングでさえも抜歯と同等に一時的な菌血症にも気をつけなければなりません。当院でもSRP後、心筋梗塞を起こされた患者様もおいででしたの早くお聞きしたいと思っております。

毎年、同窓会の総会は、講演会はもとより同窓





の先生方にお会いできることを楽しみにして参りますが、今年は同級生の佐藤圭一先生の隣で拝聴致しました。学術的な高尚なお話は彼に任せて私は、娘の幼馴染のきょうこちゃん/パパのお話として感想を書かせて頂きます。

まず、講演の結論は、歯周疾患と冠動脈心疾患は因果関係ありということで、我々開業医も益々ペリオデンタルメディスンの勉強が必要であり、その研究に大いに期待したいところです。CADの病因論が脂質中心から炎症中心にパラダイムシフトされたとのこと、歯周病が有意にCADのリスクになっているとのことでした。

この事実は、毎日の臨床において患者様が自分の歯周病の病態を知り、生活習慣を改善し、治療に協力して頂くための大きなモチベーションになります。歯周病の進行を抑えることができれば、CADや糖尿病等の病気を軽減させ、患者様のQOLを向上させ、大きく言えば医療費を減少させることができるでしょう。

山崎先生はオーストラリアに留学され研究をされたそうですがHSP(Heat Shock Protein)を解明するのに14年もかかれたとか。ユーマタつぷりに研究の苦労話もして下さり、頭が下がる思いでした。

幼稚園・学校の行事や塾のお迎え等でお見かけした山崎先生は、いつもにこやかで優しいパパぶりを発揮されておられました。そのままの講演でした。

以前、奥様から留学時に幼いお嬢様方にご購入された乳歯箱を見せて頂いたことがあります。日本では、脱落した乳歯は屋根の上や床下に捨てる習慣がありますが、外国では乳歯箱に保存しておくそうです。奥様から見せて頂いた歯の妖精のついた陶器は、拙著「歯の女神ティンクル」執筆にあたり大変参考になりました。

脱落した乳歯は乳歯箱に大切にしまうことができますが、永久歯は喪失したら悲しいこととなります。山崎先生の研究が進み、歯周病で永久歯を喪失する人が減少することを心から望みます。臨床家にとって難しい話よりも明日の臨床に直接に

役に立つ事をお話して下さったことも先生らしいお心使いと思えました。

新潟大学創立60周年記念にふさわしい素晴らしいお話をお話ありがとうございました。

## 平成21年度歯学部同窓会 総会学術講演会

「歯周疾患と冠動脈心疾患の関連—因果が  
相関か—」を聴いて

14期生 佐藤圭一

土曜の午後、久しぶりに母校の講堂に行き同窓会の学術講演会に出席した。

講師の山崎和久教授は医局の先輩であり、先生が若い頃に夜遅くまで研究室で仕事をする姿を間近にみていたが、その研究が20年の時を経てようやく一つの形になってきたとお話は大学で研究を続けておられる多くの先生方の姿として心に強く残るものがあった。歯周病の病巣に集まる多く免疫細胞の研究を続け、そこに存在する多数の歯周病原菌が持つ抗原全てに対しては免疫細胞が反応していない、そこから細菌に共通する抗原が免疫応答に重要な役割を果たしていることが疑われ、その原因としてHSP(Heat Shock Protein)60に着目されとのこと。さらにそのHSP60が動脈硬化症、特に冠動脈疾患の引き金となる重要な役割を果たしているのではないかということまでたどり着く過程は、長年の地道な研究の結実過程としてたいへん聞き応えがあった。

歯周病と全身疾患との関連のメカニズムとしては、①歯周病原菌や細菌産生物の直接作用、②細菌の感染により歯周炎の局所で産生された炎症物質による作用、③歯周病原菌に対する免疫応答の交叉反応性、などがあり、歯周病が心疾患をはじめとする全身疾患の深くかかわっていることは疑いの無いことで、今はそのメカニズムについて山崎教授をはじめ多くの研究者が研究しているが、いまだ結論は出ていないとのことだ。臨床像と実験室での病態との違いの問題や(臨床像は個人





個人で大きく異なるという問題)、実験動物(ネズミ)の遺伝子型がそろっていることによる実験のしやすさとその反面実際の生体での反応と違いが生じているという問題は研究室と診療室での病態の違うという問題を凝縮しているのだろう。我々臨床医が対象とする患者様は一人一人違い、歯周病の病態も一人一人違いがある。実験室ではできるだけ均一の条件で実験を行い歯周病の病態の解明をする。実験結果を受けそれを目の前にいる患者様に応用するのは我々臨床医であろう。大学の先生方が続ける研究室での日々の研究成果を目の前の患者様に応用できるかは我々臨床医の側の課題であろうか。常に最先端の研究成果にアンテナを張っている必要性を強く感じた誠に充実した半日であった。

## 歯科医師国家試験合格体験談を聞く会

後援会会長 14期生 有松 美紀子

平成20年、平成21年に上記会を歯学部講堂にて開催致しました。歯科医師国家試験は歯科医師の需給問題から年々難易度を増しており平成20年度・第102回の全体の合格率は、70%を切っており、資格試験ではなく選抜試験になっています。今後もこの傾向は続くと予想され、歯学部を卒業しても歯科医師になれない人があふれることとなります。

本学は、基礎学習のみならず臨床実習にも重点が置かれ、非常にバランスの良い教育がなされていますが、その反面、他大学に比べると国試に対する情報量が少なく、また、国試勉強に取り組み始める時期が遅い傾向があります。臨床実習は10月までありますので、その後から本格的に取り組むことになり、2月初めの試験日まで予断の許さない状況になります。研修医制度が始まり、希望する施設の見学、受検、場合によっては協力型施設への見学も6年生の春休みから12月の間にこなさなくてはなりません。25年前に受験した私の時代では考えられないほど厳しくなっています。

しかし、本学は現役生は合格率88%という全国でもトップクラスの成績をおさめており、毎年優秀な歯科医師を輩出しております。

では、合格者はどのような勉強のやり方をしているのでしょうか。同じ情報を同時に同所で共有し、全員合格を達成するために、6年生をメインに4年生、5年生にも声をかけ、希望者は一堂に会し、本学に残っている研修医さんたちに発表して頂きました。本学卒のみならず他大学卒の研修医さんたちにも事前にアンケートに答えて頂き、その結果もまとめました。

昨年は、細川由香先生、高橋希先生に「受験勉強の取り組み方」「模試の結果」など、今年は、4月23日18時～19時、2階講堂にて、渡辺平馬先生、近藤由記先生、斎藤浩太郎先生に「マッチングについて」「受験勉強の仕方」などをパワーポイントを使用し具体的にお話して頂き、本学の協力型施設で研修中の野澤恩美先生は合格体験談を寄稿していただき、各発表内容は6年生の国試対策委員が大学パソコンでいつでも見られるように管理





してくれています。当日は、発表後に国試の件だけでなく就職や開業等についても学生さんから活発に質問がなされ発表者だけでなく後援会、同窓会役員も回答に努めました。

また、研修医さんたちは、後輩のために上記会の改善案等も提案して下さい、今後は学生主体、後援会、同窓会は支援という形で進行することになりました。

このような会を開催することを許可して下さった大学側、小野教授、石崎先生、準備段階からご協力頂きました同窓会会長の多和田先生、そして相棒の後援会副会長であり14期同級生の佐藤圭一先生には心から感謝しております。来年度は、更に有意義な会が継続されることを願っております。

最後に、斎藤浩太郎先生の言葉で締めくくりたいと思います。6年生たちへのメッセージです。

「僕たちが達成できなかった合格率100%を是非達成させてください」……後援会、同窓会会員の総意です。

## 新潟大学創立60周年記念事業への 歯学部同窓会の取り組み

副会長 野村修一  
ホームカミングデー担当

新潟大学は今年の5月に、昭和24年の新制国立大学設置から60年を迎えました。

このメモリアルイヤーの記念事業として、10月18日(日)を中心として様々な企画行事が開催されます。

10月18日(日)

午前 同窓生が母校を訪れる「ホームカミングデー」

午後 記念式典：14：30～15：20

記念講演会：15：30～16：30

講師

益川敏英・京都産業大学教授・京大名誉教授 2008年ノーベル物理学賞受賞

演題

「科学と自由—私の研究生活から—」  
祝賀会(懇親会)：17：00～19：00

午後の会場は ANA クラウンプラザホテル新潟

歯学部と歯学部同窓会は、「ホームカミングデー」の企画として、以下を開催します。

### 1. あの時君は若かった：歯学部今昔物語

会場：新潟大学医歯学総合病院

歯科外来棟待合室

日時：平成21年10月18日(日)10：00～12：00

内容：写真パネルの展示

歯学部の創立から現在に至る写真

大学キャンパス(五十嵐、旭町)の今と懐かしの新潟市内

同窓会支部活動やクラス会の写真 など

### 2. 歯学祭の同時開催

平成21年10月17日(土)、18日(日)に恒例の歯学祭が行われます。

講演会、歯科相談、茶会、模擬店など例年以上の盛り上がりが見込まれます。

同窓生には思い出の診療室も見学できます。

### 3. 今も若いよ 気持ちはね：今年のクラス会は新潟でやろうぜ

会場：クラス幹事さん一任(新潟市近郊でお願いします)

日時：平成21年10月17日(土)または18日(日)

多くの卒業期、特に卒業して区切りの年となる、9期生(卒業30周年)、14期生(卒業25周年)、19期生(卒業20周年)、29期生(卒業10周年)の皆様は記念クラス会開催と「ホームカミングデー」への参加をお願いします。

歯学部同窓会では60周年記念事業とホームカミングデーに関する上記の案内を、今年の3月(第1報)と6月(第2報)に会員に配送しました。また、6月13日(土)に開催されたクラス代議員会議の場においても、クラス会の開催とホームカミングデーへの参加を要請しました。6、7、11、





14、23の各期はホームカミングデーに合わせて新潟でクラス会を行う予定であり、検討中の卒業期もあるとの情報が入っています。クラス会の期日や場所を変更して下さった卒業期もあり、ご協力を感謝致します。

最後に、ホームカミングデーに引き続き、午後の記念事業（式典、講演会、祝賀会）に参加する

手続きを案内します（7月31日までの情報）。ホームカミングデー会場からANAクラウンプラザホテル新潟までは、送迎バスが運行されます。新潟大学同窓生は、記念式典（入場者制限の可能性あり）、記念講演会、祝賀会に参加できます。参加希望者は参加申込書に必要事項を記入し、記念事業実行委員会事務局まで申し込んで下さい〔平成21年9月10日(木)締切り〕。

